

# NO NUKES まちの便り まちの声

非核平和自治体情報誌

2016/9/15 11号

発行：非核の政府を求める京都の会

## ■「新しい非核自治体宣言」への賛同メッセージがつぎつぎと



特集：「新しい非核自治体宣言」への賛同メッセージ

—目 次—

核兵器廃絶と脱原発をひとつに結び合わせた「新しい非核自治体宣言」の 提唱に各界から賛同のメッセージが届く……………	2~4 頁
京都府内自治体の今までの「非核自治体宣言」「平和都市宣言」……………	5~9 頁
連載「原発のない日本を求めて、講演行脚 <sup>⑩</sup> ……………	10 頁
熊本の連発震度7で新たな問題浮上—原発耐震性も避難計画も破たん— 市川章人(非核の会常任世話人、元京都府立高校教諭)	
連載「NO NUKES 千秋(せんしゅう)の想い」 <sup>⑪</sup> ……………	11 頁
「フクシマはアンダーコントロール！」安倍首相の大嘘は絶対に許せない！ 大雨のたびに今も汚染水トラブル。東京五輪への課題はメダル数ではない！ 長谷川千秋(非核の会常任世話人、元朝日新聞大阪本社編集局長)	

## 核兵器廃絶と脱原発をひとつに結び合わせた 「新しい非核自治体宣言」の提唱に各界から賛同の声

2016年4月の「非核の会・京都」の総会で決定された「新しい非核自治体宣言の提唱」に対して、150名を超える賛同の声がよせられています。それらのうち、紙幅の許す範囲で紹介します。(2016/9/10 現在) 敬称略

\* \* \* \* \*

**鰐坂 真** (関西大学名誉教授)

新しい非核自治体宣言に賛同します。核兵器のない世界と原発のない日本を願い、あらゆる可能な努力をします。

**安斎育郎** (立命館大学名誉教授、立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長)

原爆被災後に作られた憲法ですが「非核」原則は書かれていません。実際に核被害にさらされる「地方」から改めて「非核」原則を主張し、全国に「非核」の価値の普遍性を発信していきましょう。

**池内 了** (総合研究大学院大学名誉教授)

中央集権という近代の軛を脱し、自律的に自らの意思を明らかにする分権の思想を明示し実行する時代です。非核自治体、平和宣言、新たな民主主義の旗として掲げたいと思います。

**池辺晋一郎** (作曲家)

人類は愚かではないと信じていたいので、この宣言に心から賛同します。他方、「想定外」などと安易に公言してしまうことに、人間の叡智の限界を感じます。「自然との真の共存」を常に考えていてこそ、人類はみずからを賢く保てるのだと思います。

**岩井忠熊** (立命館大学名誉教授、非核の会京都前代表)

核兵器廃絶と脱原発を結びつけた「新しい非核自治体宣言」は時宜に適した提唱だと思います。大津地裁の高浜原発停止判決が出た現在、特に適切です。

**上原公子** (脱原発をめざす首長会議事務局長、元国立市長)

…略…(福島原発事故による)避難生活を強いられる人々の悲しみも癒えないうちに、原発再稼働や恥ずかしげもなく原発輸出を推進する国を、私たちは自治体から歯止めをかけなければならないと決意し、2012年に「脱原発をめざす首長会議」を発足させました。核兵器と原発という、脅威にさらされない権利を暮らしの基盤である自治体から実現させることが、今最も有効かつ、自立した民主主義社会の理想のかたちだと賛同いたします。

**大久保賢一** (日本反核法律家協会事務局長、弁護士)

時宜にかなった提案だと思います。インタビュー記事も興味深く拝見しました。

**大石芳野** (写真家)

地域から地域へ。それがつながって面になるために、微力ながら、ご協力できますことをさせていただきたく思っております。私の在住します武蔵野市も非核宣言をしていますが「新しい…」とも重なればと思ったりしています。大切な行動・運動のご提唱に敬意を表します。

**浦田賢治** (早稲田大学名誉教授)

「賛同のお願い」および望田幸男先生への「インタビュー」全文を拝読いたしました。「京都の会」は戦争への歯止め宣言という実績の上に立って、とくに今日、3.11以後を「震災後」と位置付けられて、京都府で23自治体の非核自治体宣言採択活動をなされ、湖南市や多摩市にもご足労ありました由、まことに知行一致のご活躍をなさっておられますこと、敬服致しました。「新しい非核自治体宣言」の提唱に心から賛同致します。

**大江真道** (日本聖公会司祭)

「新しい非核自治体宣言」の提唱に賛意を表します。一つでも多くの自治体が加入されることを希望します。緊急事態対応のため憲法改正を利用する政府の方針に反対します。

**大矢正人** (長崎総合科学大学名誉教授)

核兵器のない世界と原発のない日本を実現することは、ヒロシマ・ナガサキ・ビキニそして福島第一原発事故を経験した日本国民の責務です。この4月14日、16日に熊本地震が発生し、現在も余震が続いています。日本、とくに九州における活断層帯の存在をあらためて認識しましたが、…略…原発は放射性廃棄物処理を含め、不完全な技術です。…略…原発の再稼働を許してはなりません。

**岡野八代** (同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授)

わたしたちが本当に、一人ひとりの命を大切に社会を求めるとであれば、原子力はそもそも人間社会とは相容れない存在であることが理解できるはずで、目先の経済成長や、抑止力といった神話に惑わされず、市民の生活に安定・安心をもたらす社会をめざしましょう。

**尾崎 望** (京都民主医療機関連合会会長)

…日本中のあらゆる自治体が非核自治体を宣言し、そのことで日本政府を追い詰めていくことはきわめて重要な課題です。この地球上から一刻も早く核兵器をなくすためにともに頑張りましょう。

**尾崎芳治** (京都大学名誉教授)

核兵器廃絶と脱原発とを一つに統合した本会の新しい非核自治体宣言の提唱に、賛同します。私たちは、生存の基盤を大自然の力を借りて保持してきました。この力を汚染したり毀損したりするのではなく一層実り豊かで美しいものとして、次の世代に譲り渡しゆくこと、それが私たちの義務です。

**小畑哲雄** (原爆展ほりおこしの会共同代表)

…現職の米大統領が広島を訪問しました。そのことをどう評価すべきか、私には、まだ答えがありません。しかし、ほんのわずかながらも「歴史は動いた」と、私は思っています。間もなく89歳、麻生副総理になんとそられようと、もう少し長生きして、「あのころ」のことを伝える「語り部」の役を果たしたいと思っています。

**草川八重子** (作家)

賛同します。蟻川さんが知事の時代、京都には1基の原発もつくらせませんでした。でも隣の福井県では原発銀座と呼ばれる位多くの原発がつくられ、事故が起これば県境に関係なく私たちも被害を被ります。私たちは福井でつくられた電気で生活しているのだから、被害も「平等」という訳です。高度に政治的な「核」や「原発」問題で、個々に声をあげるとともに、自治体の「非核自治体宣言」も大きな意味があると考えます。政府と国民のつなぎ目である自治体が、この新しい「宣言」を受け入れ、住民に拡めてほしいと切望します。全国に広がることを願って！

**駒込 武** (京都大学教授)

日本の政治は、原発と武器の輸出をテコとして大企業・多国籍企業の「生き残り」を図る報告に向かっています。1%の富者のために、99%のふつうの人々が犠牲にされようとする世界にあって、99%の人々がさまざまな境界を越えて対話し、連帯していくことが、今までにもまして重要な意味を持っています。「新しい非核自治体宣言」を出させる取り組みは、そのようなネットワークづくりの拠点となりうる筈と思います。

**佐々木猛也** (弁護士、日本反核法律家協会会長)

時宜を得たものです。頑張ってください。

**佐野潤一郎** (元創価大学非常勤講師)

仏法者としての「生命第一」主義から、人々の生命をおびやかし、生存のための身体の機能を破壊し尚且つ無力化できない「核」全てに NO! を表明します。

**シュペネマン・クラウド** (同志社大学名誉教授)

唯一の被爆国である日本がどうしてこの面で積極的でないことが不思議です。そろそろ、自らの考えで正義、人権に寄与できる人材が出現しないと、日本は滅亡するかもしれません。自由と人権が守られる真に平和な国になるために、頑張りましょう！

**新船海三郎** (文芸評論家、季刊『季論 21』編集代表)

…略…5年前の3.11東日本大震災と福島原発事故は、戦後社会の来し方を問い、それとは違った新しい価値観で行く末を歩もうと、人びとを一瞬、その気にさせました。時がたつにつれ、原発は再稼働、経済は成長、戦争する強大国家づくりへ、あれよあれよと右旋回してきました。もちろん、人びとは手を拱いていたわけではなく、21世紀にふさわしく、個人個人がその意思で立ち向かってきました。その5年というひとつの節目の年に、「非核」というどちらかといえば“守りの国”のスタイルから、もっと攻勢的に、これまでと違った未来を構想しようと、「新しい非核社会」をよびかけられました。時宜にかなったものであるとともに、「地方創生」などといいながら地方自治を奪う昨今の政権党のやり方の中で、大きな意味があるようにも思います。

**隅井孝雄** (ジャーナリスト・メディアアナリスト)

核兵器にしる原子力発電所にしる、核は人類を破壊させるものです。地上から核兵器・原発を一掃することを願います。すべての自治体で宣言をしてください。…略…

**宗川吉汪** (日本科学者会議京都支部代表幹事)

原子核エネルギーの戦争利用が核兵器を、産業利用が原子力発電をもたらしました。ヒロシマ・ナガサキ・ビキニが核兵器の残虐性を、そしてチェルノブイリ・フクシマが原発の危険性を立証しました。放射能はわれわれ生物の遺伝子を破壊します。核兵器を無くすこと、原発を無くすことは、戦争のない安全な社会の建設に真っ直ぐつながります。全国の一干数百の自治体すべてが非核宣言することを願ってやみません。

**高橋博子** (明治学院大学国際平和研究所)

核保有は憲法違反ではないとする政権。核兵器

も核発電もだれも守らないことを歴史が証明しています。「震災後」の非核・平和都市宣言「新しい非核自治体宣言」の提唱に賛同します。

**たかだ りゅうじ** (作曲家)

♪陽ざしを浴びて 横たわる 豊かな青い海  
魚は群れて 海草は茂る 豊かな青い海  
小舟を出して 必要なだけ 魚を捕れば  
資源は無限 生命はめぐる 豊かな青い海  
魚と野菜と いい友達がおれば ほかに何が  
いるのだろう 私のこの人生 / 詩・笠木透  
あらゆる国から核兵器廃絶を！脱原発こそ、ヒロシマ・ナガサキと日本国憲法を持つ日本人として果たさなければならぬ責務です。

**竹本修三** (京都大学名誉教授、大飯原発差止京都訴訟原告団長)

後の世代を高濃度放射性廃棄物の汚染から守るために、われわれの世代は、身近なところから核兵器廃絶と脱原発を訴えていかなければなりません。そのための一歩として全国の自治体に「新しい非核自治体宣言」を求める運動に賛同します。

**鳥越俊太郎** (ニュースの職人)

私は先の都知事選挙で「東京非核都市宣言」を公約として取り上げました。その意味するところは「核兵器 NO！」と「脱原発」。つまり二つの核は要らないということです。日本の首都として東京の「非核都市宣言」は今後も求めていきたい。…略…

**橋本由美子** (多摩市議会議員)

多摩市の「非核平和都市宣言」をこえる住民合意のすばらしい宣言が誕生することを願っています。

**長谷川千秋** (元朝日新聞大阪本社編集局長)

列島の北から南まで、核兵器廃絶と脱原発の旗でリフレッシュした新・非核自治体宣言の大ウェーブを！

**畑田重夫** (国際政治学者)

核兵器廃絶と脱原発とをひとつに結びつけた 21世紀型の新たな非核自治体宣言の提唱を大歓迎するとともに全国的にこのような宣言をする自治体の数を増やすために私に出来ることは何でもしたいと考えています。核兵器と原発は同根です！

**藤原辰史** (京大人文科准教授、「自由と平和のための京大有志の会」発起人)

原子力発電所と核兵器を拒否する自治体は、それらを拒否するだけでなく、それに代わる新しい価値と生活空間を提示しなければならない。膨大な化石エネルギーに頼らない第一次産業の新たな展開、第一次産業者たちが活躍できる環境作り、核兵器を前提としない徹底的に考え抜かれた外

交の洗練、そして、原子力発電とウラン鉱発掘を支える低賃金労働者たちがそれらに依存しないで生きていける社会の構想。これらの未来を考える到着点ではなく出発点として、「新しい非核自治体宣言」に賛同する。

**松岡健一** (水島協同病院名誉院長/岡山市)

非人道的な核兵器と安全性の保障は現人類の知性では保障のない原子力発電という、明瞭な悪に封印するよう、全国自治体が頑張ることに大賛成です。子や孫の将来のため頑張りましょう。

**森 英樹** (名古屋大学名誉教授・日本民主法律家協会理事長)

新し非核自治体宣言の提唱に賛同します。ドイツでは早くから「Atomkraft Nein Danke」を合い言葉に「二つの核」に対決する市民運動が起こり、チェルノブイリを契機に高揚し、Fukushima を契機としてついに脱原発の道を切り開きました。「唯一の被ばく国」にして新たな原発の被ばくを被った日本こそが、「非核」の政府を自治体から創出する歴史的責務があると思います。

**山下正寿** («ビキニ被災検証会」事務局長)

…(中略)…ビキニ事件の実相は教科書で教えられないまま、現代史から消滅させられました。「原発安全神話」の教育が、「あらたな化粧をした原発必要神話」として登場しています。…(中略)…福島原発事故によってビキニ事件の再評価がされたように、日本の政治・経済・文化・教育の在り方も問われています。長期化する「フクシマ」に寄り添うことは、自治体や日本を変革する鏡となるでしょう。

**湯浅一郎** (ピースデポ副代表)

有意義な運動と拝察します。ご成功をお祈りします。

**若尾祐司** (名古屋大学名誉教授)

「新しい非核自治体宣言」と共に、原発依存路線の関電電力の不買自治体を広げよう。

**渡辺信夫** (渡辺地域経営研究所)

「新しい非核自治体宣言」に賛同します。チェルノブイリ 30 年は「私たちの大失敗は放射能のことを知らなすぎたことだ」。福島原発事故は「原発の安全神話」を。なんとしても「原爆・原発ゼロ」の時代を地域・自治体の運動に発展させましょう。とくに、安倍政権の「安保法制と戦争法施行」と「憲法 9 条をはじめとする憲法破壊」の強行は、日本の非核平和運動の最大の課題です。ともにがんばりましょう。

\*\*\*\*\*

# 京都府内自治体の今までの「非核自治体宣言」「平和都市宣言」

\*\*\*\*\* 2016/7/20現在 \*\*\*\*\*

- 1 京都府 宣言なし
- 2 京丹後市 非核宣言 2007 (平成 19) 10.3
- 3 伊根町 非核宣言 1989 (昭和 63). 9.27
- 4 与謝野町 非核宣言 2007 (平成 19) 3.29
- 5 宮津市 非核宣言 1987 (昭和 62). 3.27
- 6 舞鶴市 非核宣言 1990 (平成 2). 3.24
- 7 綾部市 世界連邦都市宣言
- 8 福知山市 非核宣言 1987 (昭和 62). 9.25

**京丹後市「平和都市宣言」に関する決議**

世界の恒久平和と安全は、人類共通の念願であり、平和を愛する諸国民は、核兵器の廃絶と軍備の縮小を強く希求するところである。

我々は、世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさと戦争の悲惨さをかみしめ、非核三原則の厳守はもとより、この惨禍を再び繰り返してはならないことを、全世界の人々に訴えるものである。

京丹後市は、恒久平和の基本理念のもと、自由と平和の構築を子々孫々に継承するため、ここに「平和都市」を宣言する。

以上、決議する。

平成18年3月29日

京丹後市議会

**非核平和都市宣言**

真の恒久平和は、人類共通の念願である。しかるに、核・軍備の拡張は依然として強まり、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。我々は、世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島、長崎の惨禍を繰り返させてはならないと、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を全世界の人々に訴えるものである。また、非核(作らず、持たず、持ち込ませず)の完全な遵守を求め、戦争の悲惨さを伝え、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の市民生活に生かし、子々孫々継承するため、ここに非核平和都市たることを宣言する。

昭和62年3月27日

宮津市

**非核平和都市宣言に関する決議**

真の恒久平和は、人類共通の念願である。しかるに、核・軍備の拡張は世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我々は世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさと被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島、長崎のあの惨禍を繰り返させてはならないことを、全世界の人々に訴えるものである。

また、非核三原則(作らず、持たず、持ち込ませず)の遵守を求め、戦争の悲惨さを伝え、憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の町民生活の中に生かし、永遠の平和都市たることを、ここに宣言する。

平成元年9月27日

伊根町議会

**核兵器廃絶・平和都市宣言**

世界の恒久平和は全人類の共通の願いである。舞鶴市は、市是とする「平和な産業港湾都市」の実現を目指し、常に我が国の国是である「核兵器は、持たず、つくらず、持ち込ませず」との「非核三原則」が厳正に遵守されることを強く求め続けている。

これをさらに一歩進めて、あらゆる国の核兵器が廃絶され、世界の恒久平和が実現されることを願い、ここに「核兵器廃絶・平和都市」を宣言する。

平成2年3月24日

舞鶴市議会

**「非核・平和の町」宣言に関する決議**

恒久の平和と核の廃絶は、人々の共通の願いです。しかし、依然として核兵器の脅威は平和を、世界の命を脅かしています。核兵器や戦争からは何も生まれないということを私たちは知っています。

今こそ国家、文化、イデオロギーの壁を乗り越え、平和への誓いを立てることが必要です。

未来の子どもたちが穏やかに暮らせるよう、すべての命に平和の光が射すように、恒久平和の理念を掲げ、私たちのまち与謝野町は、「非核・平和の町」としてありつづけることをここに宣言します。

平成19年3月29日

与謝野町議会

**世界連邦都市宣言文**

綾部市は日本国憲法を貫く平和精神に基いて世界連邦建設の趣旨を賛し全地球の人々と共に永久平和確立に邁進することを宣言する

平成2年3月24日

舞鶴市議会

**福知山市 恒久平和都市宣言**

人類共通の願いである恒久平和の実現は、現代に生きるわれわれの責務である。

今日の世界の情勢は、依然として核戦争の危機をはらみ、平和が脅かされている。

今こそ、われわれは、あらゆる国の核兵器の廃絶と核戦争の阻止のため努力しなければならない。  
市制施行50周年を迎えるに際し、福知山市は、非核三原則の遵守のもと真の世界平和を希求し、ここに恒久平和都市たることを宣言する。

(昭和62年9月25日決議)

## 9 南丹市 非核宣言 2007(平成 19) 12.21

### 南丹市「平和都市宣言」

世界の恒久平和は、人類共通の念願である。しかしながら、核軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我々は、世界最初の被爆国民として、核兵器の恐ろしさとなお続く被爆者の苦しみをかみしめ、この地球上に再び核兵器の惨禍を繰り返させてはならない。

我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の市民生活の中に生かし、非核三原則の完全な遵守を継承するため、ここに「平和都市」を宣言する。

以上、決議する。

平成19年12月21日

南丹市議会

## 10 京丹波町 非核宣言 2007(平成 19) 3.23

### 京丹波町「非核平和自治体」宣言に関する決議

私たちの京丹波町は、豊かで美しい自然に育まれて発展してきました。今、その恩恵を受けるものとして、かけがえのない豊かな自然を、平和で美しいまま後世に引き継ぐことは私たちに課せられた大切な責務です。

しかしながら、今なお、世界各地では戦争や紛争が繰り返され、世界平和と人類の生存、及び地球環境保全に大きな脅威をもたらしています。

我々は、世界で唯一の核被爆国民として、非核三原則を堅持し、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならないと世界の人々に訴えるものです。

世界の人々が、平和を願ってやまない今日、対話と強調の重要性を確認し、核兵器の一日も早い廃絶と戦争や紛争のない平和な世界の実現を強く望みます。

私たちは、京丹波町誕生を機に、平和を願うすべての人々と相携えて行動することを決意し、ここに「非核平和自治体」を宣言します。

平成19年3月23日

京都府船井郡京丹波町議会

## 11 亀岡市 非核宣言 2010(平成 22) 6.10

### 亀岡市「世界連邦・非核平和都市」宣言

世界の恒久平和は、人類共通の切なる願いです。  
核兵器は、その願いを妨げる脅威でしかありません。

私たちが求めるのは、あらゆるいのちの営みを一瞬のうちに奪ってしまう核兵器の廃絶であり、その存在を許さない世界の実現です。

私たちは、世界連邦の意志を受け継ぎ、「非核三原則」の堅持を訴え続けます。それらは、人と人との絆を深め、いのちの尊厳を自覚して、自然と人間が共生する世界を築いていくための普遍の原理であるからです。

私たちは、ふるさとを愛し、人を愛し、戦争のない平和で美しい地球を子どもたちに伝えるため、願いを同じくする世界の人びとと共に前進することを誓い、ここに、亀岡市を「世界連邦・非核平和都市」とすることを宣言します。

平成 22 年 8 月 7 日

亀岡市議会

## 12 京都市 非核宣言 1983(昭和 58). 3.23

### 非核、平和都市宣言

真の恒久平和は、人類共通の念願である。

しかるに、核・軍備の拡張は依然として強まり、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我々は世界最初の核被爆国民として、核の恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島、長崎のあの惨禍を繰り返させてはならないと、全世界の人々に訴えるものである。

ここに我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の市民生活に生かし、子々孫々継承するために、非核、平和都市たることを厳粛に宣言するものである。

1、京都市は、非核三原則(作らず、持たず、持ち込ませず)の完全な遵守を求める。

1、京都市は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を求める。

1、京都市は、核兵器及び核兵器積載の疑いのあるものの京都市域への通過、運搬、飛来、貯蔵、滞留を拒否する。

1、京都市は、核兵器を生産、配備させない。

1、京都市は、戦争に協力する事務は行わない。

昭和58年3月23日

京都市会

## 13 向日市 非核宣言 1984(昭和 59). 6.26

### 世界平和都市宣言

世界の恒久平和を実現することは、全人類共通の願いである。

しかるに、今なお核軍備の拡張は、依然として行われ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

我々は、今こそ真の恒久平和達成のため、唯一の被爆国民として、全世界に核兵器の廃絶と軍縮を求め、戦争による惨禍を繰り返させてはならない。

この人類共通の大義に向かって不断の努力を傾注することは、我々に課せられた責務である。

向日市は、長岡京遷都1200年にあたる本年、人類永遠の平和樹立の決意を表明し、ここに世界平和都市であることを宣言する。

昭和59年11月3日

向日市

#### 14 長岡京市 平和都市宣言

いのち輝く長岡京市平和都市宣言

こころ豊かで、ゆとりのある平和な暮らしは、私たちの願いです。

人類はいま、冷戦の時代から平和と共生の時代へと踏み出したこの歩みを、さらに確かなものとするために、私たちは薄れつつある戦争の記憶を常に新たにし、その悲惨と災禍の歴史から、平和の尊さをくみとっていかねばなりません。

「歴史を教訓に平和への決意を新たにする決議」を踏まえ、生きとし生けるものが調和し、共生しあつて、かけがえのない地球の環境が守られ、人権が尊重され、いのち輝いてこそわが国は真の恒久平和を築くことができます。

新たな21世紀を迎えるにあたり、私たち長岡京市民は、それぞれの立場から貢献することを誓い、ここに「いのち輝く平和都市」を宣言します。

2000年12月 長岡京市

#### 15 大山崎町 非核宣言 1995(平成7).12.20

大山崎町非核平和宣言

恒久の平和と安全は、人類共通の願いであります。

私たちは、水とみどりに恵まれた豊かな自然の中で、先祖が築いてきた歴史と伝統ある香り高い文化に生まれ、日々平和な生活を享有しています。

この平和を恒久的なものとするため世界唯一の被爆国の国民として、全世界の人々に被爆の恐ろしさ、苦しみを訴え、その惨禍を二度と繰り返してはならないと全世界の人々に訴えるものであります。

私たち大山崎町民は、人類普遍の願いである世界の恒久平和実現のため我が国の非核三原則を遵守し、あらゆる国の核兵器の廃絶をめざし核戦争防止を強く訴え、ここに「美しい自然と豊かな歴史」に恵まれた大山崎町を非核平和の町とすることを宣言する。

平成7年12月20日

京都府乙訓郡大山崎町

#### 16 宇治市 非核宣言 1987(昭和62).10.8

核兵器廃絶平和都市宣言

真の恒久平和は、人類共通の念願である。

我々は世界最初の被爆国民として、核兵器の恐ろしさお身をもって体験している。この地球上に再び広島、長崎の惨禍を繰り返してはならない。その為にあらゆる国の核兵器の廃絶と全面軍縮を全世界の人々に訴えるものである。

日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を市民生活に生かし、子々孫々継承するため、ここに核兵器廃絶平和都市たることを宣言する。

昭和62年10月8日 宇治市議会決議

昭和62年10月16日 宇治市告示

#### 17 久御山町 非核宣言 1989(昭和63).9.4

宣言文

真の恒久平和は、人類共通の念願である。

私達は、唯一の被爆国民として、核兵器の恐ろしさ、被爆者の苦しみをかみしめ、再び忌まわしい惨禍を繰り返させてはならない。

ここに町制35周年と、平成の輝かしい時代の到来にあたり、わが久御山町は日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を町民生活の中に生かし、子々孫々に継承するため、「平和都市」であることを宣言する。

平成元年10月1日

京都府久世郡久御山町

#### 18 城陽市 非核宣言 1986(昭和61).12.23

城陽市平和都市宣言

1986.12.23 宣言

世界の恒久平和と安全は、人類共通の願いであり、核兵器の廃絶と軍備の縮小は全人類ひとしく希求しているところである。

わが国は、唯一の被爆国として、非核三原則の堅持はもとより、再び戦争による惨禍を繰り返してはならない。

国際平和年にあたり、わが城陽市は、憲法の精神に基づいて自由と平和を愛し、思想・信条を越えて、永遠の平和都市であることをここに宣言する。

#### 19 八幡市 非核宣言 1982(昭和57).9.28

八幡市非核平和都市宣言

恒久の平和と安全は人類共通の念願であり、この至高の目標の達成なくしては、八幡市のめざしている“緑ゆたかな文化の都市”“心のかよう福祉の都市”の実現もまたあり得ない。

われわれ八幡市民は、いのちの尊厳を深く認識し、非核三原則が完全に実施されることを願い、核兵器の廃絶と軍備の縮小を強く全世界のひとびと

に訴えるとともに、この人類普遍の大義に向かって  
 不断の努力を続けることを決意した。

ここに、八幡市を“非核平和都市”とすることを宣  
 言する。

昭和57年9月28日

八幡市

## 20 京田辺市 非核宣言 2011(平成 23)3.20

### 京田辺市非核平和都市宣言

やすらぎと希望に満ちた平和な日々を送るこ  
 とは、世界の人々の願いです。

しかし、いまも世界のどこかで人間(ひと)の命の  
 尊さを踏みにじるような争いが続き、人類は、核兵  
 器の脅威にさらされています。

原子爆弾による広島・長崎の苦しみや悲しみが、  
 二度と繰り返されることのないよう、私たちは、  
 日本国憲法が掲げる平和理念に基づき、非核三原  
 則を守り、非暴力と対話で、核兵器の廃絶と世界  
 の平和を訴え続けなければなりません。

「戦争の悲惨さと平和や生命(いのち)の尊  
 さを、次代を担う子どもたちに伝えたい」

「ぼくたち、わたしたちも平和な未来のために  
 できることをがんばります」

世代を越えて受け継がれる『平和への思い』が、  
 世界平和への希望の光となることを信じます。

私たちは、木津川と甘南備山に包まれた豊かな  
 自然と先人が築いてきた歴史や文化を大切にし、  
 互いに尊敬しあい、家庭から地域、地域から世界  
 へと笑顔と思いやりの輪を広げながら、一人ひと  
 りが平和の実現に向けて努力することを誓い、こ  
 こに京田辺市が非核平和都市として歩むことを宣  
 言します。

平成 23 年 (2011 年) 3 月 20 日

京都府京田辺市

## 21 精華町 非核宣言 1987(昭和 62).12.23

### 精華町非核・平和宣言都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の念願である。

しかるに、核軍備の拡張は益々強まり、世界平和、  
 人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

世界の核廃絶を求める世論は、次第に高まり、12  
 月10日、米ソ両国首脳は中距離ミサイル(INF)の廃  
 棄について調印したが、これは核廃絶への第一歩  
 である。

わが国は、世界最初の核被爆国民として、核の恐  
 ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、こ  
 の地球上に再び広島・長崎のあの惨禍を繰り返させ  
 てはならないと世界の人々に訴えるものである。

ここに我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和  
 の理念を日常の町民生活に生かし子々孫々継承す

るために、非核・平和都市たることを厳粛に宣言す  
 るものである。

一 精華町は、非核三原則(作らず、持たず、持ち  
 こまず)の完全な遵守を求める。

一 精華町は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮  
 を求める。

一 精華町は、核兵器及び核兵器積載の疑いのあ  
 るものの精華町域への通過、搬入、飛来、貯蔵、  
 滞留を拒否する。

一 精華町は、核兵器を生産、配備させない。

一 精華町は、戦争に協力する事務は行わない。  
 以上決議する。

昭和62年12月23日

精華町議会

## 22 木津川市 非核宣言 2007(平成 19)10.3

### 木津川市「非核・平和都市」宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかし、現在この地球上には数多くの核兵器が存  
 在し、人類の生存や自然環境に大きな不安と深刻な  
 脅威をもたらしている。

我々は、世界最初の核被爆国民として、核兵器の  
 恐ろしさや被爆者の今なお続く苦しみを全世界の  
 人々に訴え、二度と広島・長崎のあの惨禍を繰り返  
 させてはならない。

我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理  
 念を生かし、継承する。

ここに木津川市は、新市誕生を機に非核三原則  
 の遵守を求め、核兵器のすみやかな廃絶と恒久平  
 和を強く訴え、「非核・平和都市」を宣言する。

平成 19 年 10 月 3 日

京都府木津川市

## 23 井手町 非核宣言 1988(昭和 62). 3.25

### 非核・平和都市宣言に関する決議

恒久の平和と安全は、人類共通の念願である。

しかるに、核軍備の拡張は依然として続けられ、世  
 界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我々は世界最初の核被爆国民として、核兵器の  
 恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、こ  
 の地球上に再び広島・長崎のあの惨禍を繰り返させ  
 てはならないと、世界の人々に訴えるものである。

ここに我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和  
 の理念を日常の町民生活の中に生かし、子々孫々継  
 承するために、非核・平和都市たることを厳粛に宣  
 言するものである。

1. 井手町は、非核三原則(作らず、持たず、持ち込  
 まず)の完全な遵守を求める。

1. 井手町は、核兵器及び核兵器積載の疑いのある

ものの通過、搬入、飛来、貯蔵、滞留を拒否する。

1. 井手町は、核兵器を生産配備させない。
  1. 井手町は、戦争に協力する事務は行わない。
- 以上決議する。

昭和63年3月25日

井手町議会

#### 24 宇治田原町 非核宣言 1989(昭和 63). 6.28

宇治田原町、非核・平和都市宣言

真の恒久平和は、人類共通の念願である。

しかるに、核・軍備の拡張は依然として強まり、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我々は世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島、長崎のあの惨禍を繰り返させてはならないと、世界の人々に訴えるものである。

ここに我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の生活の中に生かし、子々孫々継承するために、非核・平和都市たることを厳粛に宣言するものである。

- 1 宇治田原町は、非核三原則(作らず、持たず、持ちこませず)の完全な遵守を求める。

- 1 宇治田原町は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を求める。

- 1 宇治田原町宇治田原町は、核兵器及び核兵器積載の疑いのあるものの宇治田原町域への通過、搬入、飛来、貯蔵、滞留を拒否する。

- 1 宇治田原町は、核兵器を生産、配備させない。

- 1 宇治田原町は、戦争に協力する事務は行わない。

平成1年6月28日

宇治田原町議会

#### 25 和束町 非核宣言 1988(昭和 62). 6.26

非核和束町宣言

- 1、和束町は、非核三原則(作らず、持たず、持ち込ませず)の完全な遵守を求めます。

- 2、和束町は、核兵器及び核兵器積載の疑いのあるものは和束町域への通過、搬入、飛来、貯蔵、滞留の拒否を求めます。

- 3、和束町は、核兵器を生産、配備の拒否を求めます。

- 4、和束町は、核兵器廃絶の世論の発展のために(広島、長崎)の被爆の実相と被爆者の実情をすべての町民に知らせるよう求めます。

昭和63年6月26日

和束町議会

#### 26 笠置町 非核宣言 1988(昭和 62).12.16

非核・平和都市宣言

恒久の平和と安全は、人類共通の念願である。しかるに、核・軍備の拡張は依然として続けられ、世界

平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我々は世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島・長崎のあの惨禍を繰り返させてはならないと、世界の人々に訴えるものである。

ここに、我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の町民生活の中に生かし、子々孫々継承するために、非核・平和都市たることを厳粛に宣言するものである。

- 1、笠置町は、非核三原則(作らず、持たず、持ち込ませず)の完全な遵守を求める。

- 1、笠置町は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を求める。

- 1、笠置町は、核兵器及び核兵器積載の疑いのあるものの笠置町域への通過、搬入、飛来、貯蔵、滞留を拒否する。

- 1、笠置町は、核兵器を生産、配備させない。

- 1、笠置町は、戦争に協力する事務は行わない。

昭和63年12月16日

京都府相楽郡笠置町

#### 27 南山城村 非核宣言 1988(昭和 62). 9.21

「非核・平和南山城村宣言」に関する決議

恒久の平和と安全は、人類共通の念願である。

しかるに、核・軍備の拡張は、依然として続けられ、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我々は世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島、長崎のあの惨禍を繰り返させてはならないと、世界の人々に訴えるものである。

ここに我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の村民生活の中に生かし、子々孫々継承するために、非核、平和南山城村たることを厳粛に宣言するものである。

- 1、南山城村は、非核三原則(作らず、持たず、持ち込ませず)の完全な遵守を求める。

- 1、南山城村は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を求める。

- 1 南山城村は、核兵器及び核兵器積載の疑いのあるものの南山城村域への通過、搬入、飛来、貯蔵、滞留を拒否する。

- 1、南山城村は、核兵器を生産、配備させない。

- 1、南山城村は、戦争に協力する事務は行わない。

- 1、南山城村は、核兵器廃絶の世論の発展のために「広島」「長崎」の被爆の実相と被爆者の実態を全ての村民に知らせるよう努める。

以上、決議する。

昭和63年9月21日

京都府相楽郡南山城村議会

## 連載：原発のない日本を求めて、講演行脚⑩

熊本の連発震度7で新たな問題浮上  
—原発耐震性も避難計画も破たん—

市川章人(元京都府立高校教諭)

## ■地震活動期の今、地震空白地域・若狭が心配！

今年4月から続発し、甚大な被害を与えた熊本地震は、原発の安全性と避難計画に新たに深刻な問題を投げかけた。

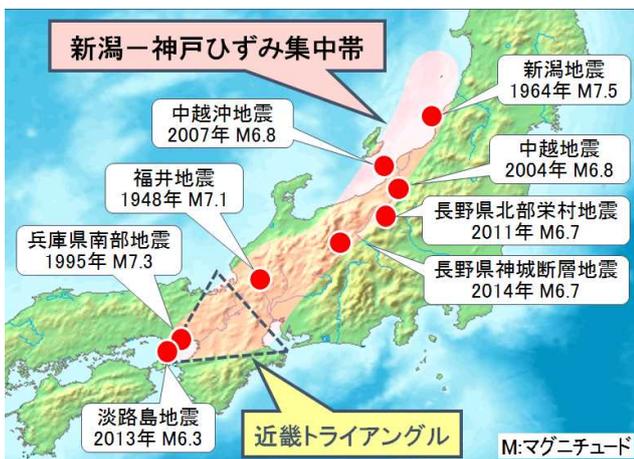
熊本地震は、①震度7の連発、②大規模な関連地震のかつてない頻発、③内陸地震としてはかつてなく広範囲で次々震源が移動、など専門家も予想外の性格を見せた。これらは、地震に関する未知の多さや予知の困難性ととも、同様の地震が日本列島のどこでも起き得ることを警告した。

九州の地震を起こした活断層帯は、東は四国の伊方原発のすぐそばを通る大断層帯・中央構造線につながり、西南方向では川内原発周辺の活断層帯に影響する可能性がある。万が一を考え、川内原発も伊方原発もすぐ止めるべきである。

原発の密集する若狭湾は、活断層が網目状に交差して集中する「近畿トライアングル」の頂点にある。ここは日本列島が東西から押されてきた「新潟-神戸ひずみ集中帯」の一部であり、地震活動期に入っているにもかかわらず地震空白地域である【図】。すなわち、若狭はいつ大きな地震が起きてもおかしくない状態にある。

## ■熊本地震であらわになった耐震性の限界

一般の建物では、耐震基準が1981年の改正で引き上げられ、「大規模地震（震度6強～7）でも倒壊や崩壊はしない程度」となった。ところが、熊本地震では、これに従って耐震強化をした建物



が2度目の震度7で多数倒壊した。なぜだろうか？

建築基準法の耐震基準は「一次設計」と「二次設計」の2段階構成である。「一次設計」では、中規模の地震動（震度5強程度）でほとんど損傷が生ずるおそれのないこと、すなわち変形を起こしても元に戻る耐震性を求めている。「二次設計」が先に述べた「震度6強～7でも倒壊はしない程度」であり、壊れてもなんとか立っていることを求めている。しかし、一次設計を超える地震動で一部でも損壊すれば、二次設計も破たんするため、2度目の震度7では倒壊したのである。

原発の耐震性も同様の2段階構成になっている。二次設計に相当するのが、「基準地震動に対して安全機能が保持できること」という規定であり、施設が壊れても放射性物質が漏れないことを求めている。一次設計に当たるのが、「弾性設計用地震動に対し、おおむね弾性状態とどまる範囲で耐えること」という規定である。弾性設計用地震動は「基準地震動の半分を下回らない値」とあるから、基準地震動を700ガルとすると、弾性設計用地震動は360ガル程度になる。

したがって、原発も基準地震動に近い揺れに2度襲われれば、2度目の地震では最悪の事態に陥る危険性が極めて高い。震度6強が850～1500ガル、震度7は1500ガル以上に相当するから、一発の震度7でだめになる恐れさえある。

## ■破たんした国の「原子力災害対策指針」

熊本市では、耐震補強したのに益城町役場は防災拠点に使えず、小・中学校24校の体育館も使用禁止になり、避難所に使えなかった。したがって、原発事故が重なっておれば、屋内退避を主にした原発事故時の避難計画は全く機能しない。

国の「指針」では、放射性物質が放出されても、半径5～30キロ圏は屋内退避が基本で、1時間当たり500ベクレルを越えないと避難指示は出さない。30キロ圏以上は屋内退避のみでヨウ素剤の配布もない。遠くに逃げようにも道路・鉄道は寸断され、住民は大量被ばくを避けられない。

地震大国日本で、原発容認は社会の自殺行為であり、耐震性の検証実験抜きで認められた老朽原発高浜1、2号機の20年稼働延長など論外である。

せんしゅう  
連載: NO NUKES 千秋の想い⑪

**「フクシマはアンダーコントロール！」  
安倍首相の大嘘は絶対に許せない！  
大雨のたびに今も汚染水トラブル。  
東京五輪への課題はメダル数ではない！**

長谷川千秋（元朝日新聞大阪本社編集局長）

リオ五輪での日本選手たちの活躍、素晴らしかったですね。私も連日、睡眠不足になるぐらいテレビにかじりついて観ました。でも、「さあ、次は東京五輪」と意気込む気分にはなれません。ちょうど3年前の2013年9月7日、南米アルゼンチンの首都で国際オリンピック委員会（IOC）総会が開かれ、56年ぶりの2020年東京五輪開催が決まった時のことが忘れられないからです。

東京招致の最終プレゼンテーションに立った安倍晋三首相は、両手を広げ、こう発言したのです（写真上）。

「フクシマについて、お案じの向きには、私から保証をいたします。状況は、統御されています。東京には、いかなる悪影響にしろ、これまで及ぼしたことはなく、今後とも、及ぼすことはありません」

これは今も首相官邸のホームページに動画ともども載っている文言そのものです。英語での演説でしたので「ザ・シチュエーション・イズ・アンダー・コントロール」。この、とんでもない言葉は瞬く間に世界中に伝わりました。汚染水による影響も完全にブロックされている、ともいいました。

これほど2011年の「3・11」以来、私たち市民が抱き続けてきた不安な思いとかげ離れた状況認識もなかった。当時、朝日新聞の全国世論調査でも、安倍首相の「状況はコントロールされている」との発言を「その通りだ」と受け止めた人はわずか11%。「そうは思わない」と答えた人が76%に上りました（朝日新聞2013年10月7日朝刊）。

安倍首相は問題のIOC総会から帰国後の9月19日、東京電力福島第1原発を訪れ、放射能汚染水漏れの現場を視察します。その時のいで立ちが下の写真（ネット検索）。真ん中の人が安倍首相です。ガ

\* \* \* \* \*

### 編集後記

●8月16日米ワシントン・ポスト紙は15日、オバマ政権が検討している核兵器の先制不使用政策について、安倍首相がハリス米太平洋軍司令官に「北朝鮮に対する抑止力が弱体化する」として、反対の意向を伝えたと報じた。エッツ！？（長谷川）

チガチの完全防護。あの大事故から2年半経つというのに、一国の最高責任者がこのようなものしい防護服でなければ現場に行けないこと自体が、福島原発事故の深刻さを物語っているのに、安倍首相にとってはパフォーマンスの1つにしか過ぎなかったのです。



今回のリオ五輪閉会式でも、安倍首相は人気ゲーム「スーパーマリオブラザーズ」のマリオのコスプレで突如登場。マスコミから「五輪の政治利用ではないか」の声も出ました。

安倍首相が意気揚揚と帰国した8月23日、東京電力は福島第1原発構内のK排水路を流れる水からストロンチウム90などベータ線を出す放射性物質を1㍓当たり2300ベクレル検出したと発表しました。暫定警報設定値（1500ベクレル）を超える過去最高値。この排水路では外洋流出トラブルが頻発していました（24日、河北新報WEBサイトなど）。異常気象続き。大雨、台風のたびに心配が募ります。テレビは福島原発現場の映像をしっかりと出してもらいたい。汚染水対策の切り札とされた「凍土壁」も4か月半経つのにうまく機能しません。安倍首相の「アンダー・コントロール」は破綻しているのです。国際社会に向かってついた大嘘の責任をどう取るのか。東京五輪はアスリートたちに任せ、原発再稼働を直ちにやめ、東電任せでなく英知を集め、国の責任で福島原発事故の収束に全身全霊を注いでほしいです。（当会常任世話人）

\* \* \* \* \*

編集・発行: 非核の政府を求める京都の会 〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13 教育会館別館1階  
Tel・Fax: 075-771-0729 Mail: hikaku-kyoto@nifty.com ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/hikaku-kyoto/>